

=====各判定基準=====

1、打球テスト

P 1：5 セクション全て P1 の評価を得なくてはならない

P 2：5 セクション全て P2 以上の評価を得なくてはならない

P 3：5 セクション全て P3 以上の評価を得なくてはならない

I ：5 セクション全て I 以上の評価を得なくてはならない

再受験：5 セクションで1 つでも F と判定された場合

2、指導法テスト

P 1：4 セクション全て P1 の評価を得なくてはならない

P 2：4 セクション全て P2 以上の評価を得なくてはならない

P 3：4 セクション全て P3 以上の評価を得なくてはならない

I ：4 セクション全て I 以上の評価を得なくてはならない

再受験：4 セクションで1 つでも F と判定された場合

3、筆記テスト

P 1：ABC 各セクション全て 40 点以上で、且つ合計点数が 170 点以上であること

P 2：ABC 各セクション全て 35 点以上で、且つ合計点数が 150 点以上であること

P 3：ABC 各セクション全て 30 点以上で、且つ合計点数が 120 点以上であること

I ：ABC 各セクション全て 25 点以上で、且つ合計点数が 100 点以上であること

再受験：ABC 各セクションで1 つでも 25 点未満か、合計点数が 100 点未満

4、総合判定

JPTA 認定プロフェッショナル 1（RSPA エリートプロフェッショナル）

上記 3 部門全て P1 の最終判定を得なくてはならない

JPTA 認定プロフェッショナル 2（RSPA プロフェッショナル）

上記 3 部門全て P2 以上の最終判定を得なくてはならない

JPTA 認定プロフェッショナル 3（RSPA プロフェッショナル）

上記 3 部門全て P3 以上の最終判定を得なくてはならない

JPTA 認定インストラクター

上記 3 部門全て I 以上の最終判定を得なくてはならない

再受験

上記 3 部門中 1 つでも再受験の最終判定がある場合、JPTA 資格は認定されない